

これまでの審議内容と計画の進捗状況

- ▶ 練馬区全体の削減目標（12.6万t-CO₂）の達成のためには、「環境に配慮したライフスタイルの推進」による**区民一人ひとりの行動がカギ**となる。
- ▶ これまでの計画進捗や審議を通じて、家庭部門のCO₂排出量削減の難しさが改めて浮き彫りとなった。

1 今期の状況

審議（第1回～第5回）の振り返り

経過

・第1回～第3回：

国・都の動向、家庭部門CO₂の現状、計画の枠組、区の施策の状況等について、現状把握を行った。

・第4～5回：

家庭部門のCO₂排出削減に向け、「環境に配慮したライフスタイルの推進」の課題を深掘りし、今後の検討視点を整理した。

全体を通しての主な意見（抜粋・要旨）

情報の見える化に関する意見

- ・CO₂排出量や削減効果が「自分の暮らし」と結びつきにくいとの意見があった。
- ・省エネ行動等とその効果の関係性が分かりにくく、理解しやすい示し方が必要との指摘があった。

周知・啓発の方法に関する意見

- ・区報など既存の周知・啓発の方法では、若者や子育て層などに情報が届きにくいとの意見があった。
- ・情報を受け取っても行動に結びつきにくいとの意見があった。
- ・無関心層への働きかけなど、伝え方の工夫が必要との意見があった。

継続・波及・連携に関する意見

- ・子どもの関心を継続させる仕組みの必要性について意見があった。
- ・出前講座などは単発の取組であり、家庭や地域へ広がりにくいとの意見があった。
- ・地域の環境分野の団体や専門家に関する情報が分かりにくく、マッチングがしにくいとの意見があった。

集合住宅に関する意見

- ・所有と居住の関係、管理組合の合意形成の難しさなど、課題が共有された。
- ・区の後押しへの期待がある一方、集合住宅に対する省エネ・再エネ設備の導入が構造的に難しい点も確認された。

練馬区環境基本計画2023の主な取組

住宅等の消費エネルギー削減：

- ・カーボンニュートラル設備等設置補助金 R7年度実績1203件（807件）〔太陽光発電設備447件（288件）、窓断熱改修303件（176件）ほか〕（ ）前年度実績
- ・区HPでの関連情報の発信や、国や都が作成する省エネや補助に関する各種周知用チラシを窓口や環境イベント等で配布するなど普及啓発を実施。

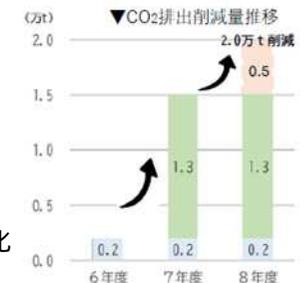
環境に配慮したライフスタイルの推進

- ・エコライフチェック事業や、ねりま環境まなびフェスタをはじめ、こども向け環境学習のほか、区民・事業者の取組を後押しする情報発信など多数実施した。

区の率先行動

- ・再エネ100%電力導入の拡大を進めている。R8年度からは区立施設276か所に導入し、約2.0万t-CO₂の削減を見込む。

- ・施設の改修・改築に合わせ、太陽光発電設備の設置、高効率空調設備の導入、照明設備のLED化等実施。
- ・マイボトル対応型給水機の導入
10施設29台設置



達成見込



今後のカギ：区民の行動変容 省エネ行動等による**家庭部門のCO₂排出削減量アップ**